

広報

ひがししらかわ



2月13日から三日間、スキー研修を行なった中学1年生の皆さん

村長室から

○久しぶりの大雪になりました
二週続きの大雪で雪かきが大変でした。村民の皆さんも腰の痛い毎日だったと思います。本村はお陰様で大きな被害もなく、幸いでした。

○三月の定例議会に向けて

村では平成二十六年年度予算の編成を行なっています。来年度は各種の大型事業のために、昨年の予算規模に比べ二〇%を超える増額予算になります。災害時などに素早い対応ができるようにするための防災無線デジタル化や、太陽光発電と蓄電池を中学校と役場と五加センターに設置する事業などを予定しています。太陽光発電などの設置については、国のグリーンニューデール事業を利用して全額補助金で建設する予定で、災害時に大変役立つと期待しています。また普段は施設で使う電力をまかなう事ができます。こうした新しい事業の他、地域に密着した補助事業も例年と同じく計上します。拡充する事業もありますので気軽に役場へご相談下さい。

議会で議決されたら詳しくお知らせします。

○新しい環境に希望を持って

三月は出会いと別れの季節です。小中学校の卒業式、保育園の卒園式、消防団の入退団式と多くの出会いと別れがあります。それぞれ希望をもって頑張ってください。



3
2014

平成25年度 岐阜県茶総合品評会 賞状等 伝達式



岐阜県茶総合品評会

本村が上位独占 最高品質を証明

平成二十五年度の県茶総合品評会において一位の農林水産大臣賞に五加茶生産組合が、続く二位・三位の東海農政局長賞・岐阜県知事賞に東白川製茶組合が選ばれました。この伝達式が、二月十八日に岐阜市で開かれ、各組合の代表者が表彰されました。

上位独占は本村が初めて

例年品評会には県内の生産団体から百点以上の出品があり、この中で一自治体からの出品が上位を独占したのは過去に例が無く、品評会始まって以来の快挙です。

平成二十四、二十五年度和二年続いて大規模な凍霜害が発生しており、日本の茶業全体に大きな影響が出ています。特に二十五年度は、村の茶業が始まって以来最大規模の被害となりました。

今回の入賞は、そんな大きな被害を受けながらも高品質なお茶を生産できる事の証明となったと言えます。

続けての受賞に期待

平成二十六年度の岐阜県茶総合品評会は、本村が担当町村として開催する予定です。また二十七年には、関西茶品評会が岐阜県で開催されます。今後も村のお茶が優秀な成績を残し、より確かなおいしさの証明を得る事が期待されます。

各組合長 受賞の喜び

安心安全を武器に

五加茶生産組合 今井政信さん
厳しい状況が続く中、一等一席に選ばれたことはとても励みになり、明日へ前進する力となります。

今後は、今回証明された品質の高さ、五加茶独自の強みである無農薬の安心・安全を最大限にアピールして売り出していきたいと思えます。

入賞続けて村をPR

東白川製茶組合 安江美好さん
凍霜害を受けた中での受賞なので、喜びもひとしお。またがんばろうと思えることができました。

厳しい土地でこそ良いものが作られるので、商品と地域を一体としてアピールしていきます。

これらの賞は入賞し続けることに意味があるので、村のPRにつながるために今後も力を入れていきます。

それぞれの取り組み

五加茶生産組合

安心・安全の農薬不使用栽培

組合の特徴は安心・安全の農薬不使用栽培です。平成十一年、県が定めた「ぎふクリーン農業」に基づいて農薬不使用・減化学肥料での栽培を始めました。現在は、国の「特別栽培農産物に関わる表示ガイドライン」も基準に加えて栽培しています。

現在のような「農薬不使用茶」と表示をするためには三年に一度、基準を満たしているか国・県の検査を受ける必要があります。組合員への啓発や栽培記録を義務付けるなどして、それぞれの基準を守った栽培を続けています。

組合員の互助で茶畑管理

担い手の高齢化により、個人では管理し続けられない茶畑が年々増えています。

耕作放棄地となれば生産量の減少に直結し組合の収支にも影響するため、そのような茶畑の管理や茶摘みを組合員同士の互助で行ない、品質向上と生産量の維持に努めています。

新たな販売の手法を模索

これまでの収益は荒茶、特に一番茶の売り上げが大部分を占めています。しかし、年々緑茶の消費

が減少傾向にあり、販売単価の低迷が続いているのが現状です。また二十五年度のように凍霜害等の自然災害により、生産量が大きく左右される場合もあります。

更に荒茶を購入する茶商が求めるお茶の味はそれぞれ違いがあります。きめ細やかな加工方法により茶商の要望にそえる荒茶に仕上げる事に力を入れる一方、新しい販売手法を模索することとしました。今後は他地域への研修等を重ね、様々な手法を探っていきます。

安心・安全の無農薬栽培や農林水産大臣賞受賞などの実績を前面にアピールするほか、問合せの多い有機栽培の研究を更に進めるなどして、消費者が好む特徴あるお茶づくりを進めています。

東白川製茶組合

条件不利地域の克服「遅場」

お茶の価格は共販によって決まりますが、他の組合より出荷が遅くなれば良いお茶であっても相対的に価格は低く抑えられます。その対策として特徴ある荒茶生産に取り組むことがあげられます。特に美濃白川茶全体で推進している

「萎凋香」(※一)については、東白川製茶組合が先んじており安定した品質での生産体制を確立し販路拡大を目指しています。

また栽培講習会の実施により「芽重型」(※二)の良質で安定した生葉生産の指導を行なっています。他に小規模の生産ラインの導入により特徴ある荒茶生産にも取り組んでいます。

条件不利地域の克服「山間部」

本村は山すその小さい茶園が数多くあり、効率の良いお茶栽培ができない現状があります。収益のあがる茶園経営の確立を目指していますが、採算の取れない茶畑の取捨選択はやむおえない状況です。また管内で最大規模の当組合の工場は、その規模に合った生葉を受け入れないと効率が著しく悪くなります。

これらの状況に対して、若干の整備だけで乗用型摘採機対応の茶畑に転換できる事が意外なほど多い事が分かり、これを推進しています。また、収益性の向上と多様なニーズに対応するためのモデル茶園を神付地区に整備する計画も進め、様々な点から条件不利地域克服を図っています。

※一「萎凋香(いちようか)」生の茶葉がしおれる段階でできる香り。お茶に加工すると独特の華やかな香りになり、近年注目されている。

※二「芽重型(がじゅうかた)」一本一本が太く、重量がある茶葉

その他団体の取り組み

美濃白川茶商会は本村と白川町の十七の茶商が加盟し、お茶の淹れ方講習や昨年の秋フェスタで開催されたT・1(ティーワン)グランプリなどの開催により、白川茶のPRと消費拡大を目指しています。また白川茶共販会を開催する美濃白川茶農業協同組合連合会も茶商会の活動を支援するなどして、地域一丸となって白川茶のPRに努めています。

明るい白川茶の

未来に向かって

全国的に緑茶消費量は減少傾向にあり、荒茶の販売価格も回復の兆しが見えてきません。また高齢化による担い手不足など村の茶産業は厳しい状態です。しかし今回の受賞により、条件不利地域であっても、凍霜害があっても生産者の熱意と努力により確かな品質のお茶が生産できる事が証明されました。

東白川村で生産される荒茶の量は、全国生産量の〇・一%以下です。知る人ぞ知る「白川茶」が美味しいお茶の代名詞になるよう関係者の取り組みが続きます。

危険を知って正しく利用

中学校・情報モラル研修

二月五日、中学校で全校生徒を対象に情報モラル研修が行なわれ、便利なインターネットに潜む様々な危険について学びました。

講師は美濃教育事務所・酒井統康さんで、個人情報流出や肖像権の侵害、架空請求などの事例を紹介。身を守るためには正しい知識や心がけが必要なこと、困った時は必ず大人に相談することなどをアドバイスしました。

生徒は「写真一枚でも自分の色んな情報が漏れてしまうと知り、とても怖い」「時には友達も巻き込んでしまうと分かり、これからは特に注意して利用していきたい」と話していました。



安易な書き込みが危険です



デザインよりもわかりやすさが重要

村の魅力を発信するために

村を伝え、人を動かすために

長期宿泊体験協議会の主催で「伝え、人を動かす」をテーマにした勉強会が二月十三日に商工会館で行なわれ、村内の業者など二十一人が参加しました。

講師は経営の専門家・朝日大学の田村明教授で、「相手の立場で考える」情報を正しく伝え興味を引くためのコツを紹介しました。

また企業や地域おこしの成功例・失敗例を基に、重要なポイントとして人々の需要を常に知ること、新しい魅力を生み出すために努力し続けることなどを挙げ「人に来てほしいと思うなら、それらに労力を惜しまないでほしい」と話しました。

食を通じて地域おこし

岐阜まんぷくジャーニー

NPO法人青空見聞塾は、二月八日に鮎の新作料理の試食会とお茶の火入れ体験・いれ方講習をはなのき別館で行ないました。

これは県主催のイベント「岐阜まんぷくジャーニー」の一つで、村外からの応募者五人と関係者十五人が参加しました。

試食したのは「鮎とトマトの朴葉みそ焼き」「鮎のから揚げと茶そば」「鮎だし大根」など、村の飲食業者が考えた九品。「地元のトマトやシイタケと美味しく組み合わせることにこだわった」「鮎の骨や頭まで食べられるようパリパリに揚げ、つゆは鮎のダシから作りました」など、それぞれのこ



料理を味わう参加者



新作鮎料理が並びました

だわりを話していました。参加者からは「意外な組み合わせが非常に合っていた」「もつと野菜など青物を加え、彩り豊かにすると良い」といった感想がありました。

また、お茶の火入れ体験・いれ方講習では「煎り方で味が変わることを初めて知った」「おいしいいれ方と合わせて、お茶を楽しむきっかけにしたい」と好評でした。

主催者代表の松岡正道さんは「集めた意見をもとに料理の検討を重ね、村のどこでも食べられる品を作っていきたい。今後もっと村を広く知ってもらおう機会を作り、地域おこしにつなげたい」と話しました。

村のPRについて、新たな可能性を感じた取り組みでした。

蜂の活用から昆虫食まで

第一回蜂の講演会

主に中部地方の愛好会で構成される全国地蜂連合会が主催の講演会が、二月二十三日はなのき会館で開催され、会員約百五十人が参加しました。

壇上に立ったのは大学教授や研究者など四人の専門家。昆虫食やミツバチの飼育などのテーマで講演を行ないました。

会長の今井久喜さん（大沢）は「昆虫食は食糧難対策に非常に有効です。若い人々を中心にこの食文化を受け入れてもらえるよう活動を続けたい」と話しました。

今年夏には、東白川村タカブ研究会による蜂の巣の探し方講習が村内で開かれる予定です。



講演した講師の皆さん



リーダーの自覚が芽生えます

六年生から五年生へ引き継ぐ

六年生を送る会

六年生に感謝の気持ちを伝えようと、二月二十七日に小学校で六年生を送る会が行なわれました。

会は二部構成になっていて前半は、全校登山や掃除の時間を共に過ごした縦割りの「仲良しグループ」ごとに分かれて、ゲームを楽しんだり手作りのプレゼントが六年生に手渡されたりしました。

後半はランチルームで「分団長・はぐるま委員・仲良しグループ」のリーダーの引き継ぎ式や、学年ごとに歌や太鼓の出し物があり、歌詞の一部をお礼の言葉にしたり、在校生から六年生一人ひとりにメッセージを読み上げるなどしました。小学校の卒業式は三月二十五日です。

接戦・熱戦・大逆転

村民ふれあいカローリング大会

三月二日、第二回村民ふれあいカローリング大会が小学校体育館で行なわれ、八チーム三十三人が参加しました。

二年目の今年はルールも点数計算もほぼ浸透していて、試合中の戦術も高度になり、最終回に六点を一気に取って大逆転するなど、熱戦が繰り広げられました。

予選リーグ戦と決勝トーナメント合わせて十六試合の結果は、優勝「かしましチーム」、準優勝「西洞」三位「長瀨」となりました。

初めて参加した人も多かったのですが、一投ごとに歓声があがるなど大変盛り上がった大会となりました。なお、教育委員会では器具の貸し出しも行ないません。



ナイスショット！

会員の経営改善に貢献

商工会に感謝状

小規模事業者経営改善資金融資制度の普及と推進を行なっている東白川村商工会に、日本政策金融公庫から感謝状が贈られました。

この制度は商工会を通じて利用でき、無担保・無保証で千五百万円まで借りられ、運転資金・設備資金のどちらでも使えます。

本年度の村商工会での取り扱い実績は昨年より増え、景気が少し上向き傾向である事を伺わせま

す。一月三十日には、同公庫多治見支店の河野真司支店長さんが商工会を訪問し、田口金雄商工会長に感謝状が手渡されました。

経営改善資金制度は四十周年を迎え、商工会員を支えています。



商工会員の事業を応援します

おしらせ



「すぐメール」を ご利用ください

平成二十四年から運用を始めた「すぐメール」の情報提供内容を見直し、より生活に密着した情報提供ができるようになりました。

- ① 緊急災害情報
 - ・災害時の避難・交通・通行規制情報など
- ② 防犯安全情報
 - ・不審者情報
 - ・クマ出没情報
- ③ 保育園、支援室情報
 - ・警報時の休園情報
 - ・警報時の帰宅情報
 - ・帰宅訓練情報
- ④ 生活関連情報
 - ・職員室からのお知らせ
 - ・工事、事故などの道路通

行規制情報
停電、断水などの消費生活情報

⑤ 診療所関連情報
健康福祉情報（熱中症、食中毒などを含む）

緊急時には有効な通信手段となり、通勤時間帯での事故情報や長時間の停電に関する情報も可能な限り提供していきます。

登録方法

① 携帯電話、スマートフォンなどのバーコードリーダーで左のQRコードを読み込み、画面の指示に従いメールを送るなどして仮登録↓本登録してください。本登録する時に配信力テグロを選択して下さい。

すぐメール
QRコード



バーコードを読み取れない時は下記に空メールを送信して登録してください。

詳しくは総務課行政係（内230）にお問合わせ下さい。

t-higashishirakawa@sg-m.jp

四月十三日(日)は東白川村長選挙および東白川村議会議員選挙の投票日です

投票できる人

- ・日本国籍のある人
- ・平成六年四月十四日以前に生まれた人
- ・平成二十六年一月七日以前に本村に転入届を出した人で、引き続き村内に住所のある人

期日前投票は四月九日から

投票日に仕事や旅行などで投票所へ行けない方は、期日前投票をご利用ください。

場所 役場本館三階会議室
期間 四月九日(水)

受付 午前八時半～午後八時
〆 十二日(土)

投票所入場券を郵送します

投票のための整理券として、投票所入場券を郵送します。

当日に忘れてしまった場合でも、選挙人名簿に登録されている人であれば投票することが出来ます。

投票所の受付にその旨を申し出てください。

開票 四月十三日(日)
日時

午後九時から

場所 村民センター四階
大集会室

立候補の届出および受付

- ・東白川村長選挙
- ・東白川村議会議員選挙

期間 四月八日
午前八時半～

午後五時
場所 村民センター四階
大集会室

防災備品を整備しました

平成二十五年度宝くじの助成金で、発電機二十台と小学校と中学校に防災倉庫を整備しました。



整備された倉庫と発電機

御寄付

ありがとうございました

※敬称略

【東白川村】

- 医療・保健福祉部門
- 金五万円：今井準（宮代）
- 金五万円：村雲文明（中通）
- 金十万円：匿名

【社会福祉協議会】

- 金十万円：松岡美喜（日向）
- 金十万円：村雲治幸（神付）
- 金五万円：村雲文明（中通）
- 金一万円：中島癸一（西洞）
- 金三万円：今井 準（宮代）
- 金三万千百四十六円：かすみ草、青年フォーラム
- 布：小池君江（平）
- 古切手、タオル、レジ袋
- 古切手：板垣栄子（黒淵）
- 古切手：おたのしみ会
- 古切手：榎岩城工（弥富市）
- 手作り人形：匿名
- 古切手：匿名

東白川森林組合報告 第 686 回共販会 (3/4)	
ひのき	13cm 以下小丸太 平均単価 / 9,400 円
	14cm 以上 平均単価 / 23,700 円 高値 / 127,000 円
すぎ	平均単価 / 9,900 円 高値 / 22,000 円
赤まつ	平均単価 / 8,800 円 高値 / 18,900 円
総取扱量	947 m ³
総販売高	1,849 万 1 千円

現在の最低賃金額を お知らせします

岐阜県労働局は、平成二十五年度に岐阜県最低賃金の改正を行ないました。現在の最低賃金額は次の通りです。

岐阜県最低賃金

時間額：七二四円

特定(産業別)最低賃金

陶磁器・同関連製品、耐火物製造業

時間額：七二四円

日 額：五七〇八円

電機関連製造業

時間額：七九二円

自動車関連製造業

時間額：八三〇円

航空機関連製造業

時間額：八七九円

※この最低賃金は、県内の

事業所で働くすべての労働者に適用されます。

■問い合わせ先

岐阜労働局賃金室
Tel 058・245・8104
関労働基準監督署
Tel 0575・22・3251

森林の取引には 事前届出が必要です

県では水源地域を保全するため、平成二十五年四月に「岐阜県水源地域保全条例」を制定し、水源地域内の土地取引等の事前届出制を定めています。土地の取引を行なう前にご確認ください。

届出者

土地所有者(売主)等

対象行為

指定した水源地域内の土地の所有権、地上権、地役権、使用貸借による権利、賃借権の設定又は移転に係る契約を締結する場合

届出期間

契約締結の三十日前まで

届出先

県庁林政課又は
各農林事務所

村内の指定水源地域

・大明神水源
(七十六〜七十七林班)
・曲坂水源
(四十四〜四十九林班)
※地図は可茂農林事務所ホームページでご覧いただけます。(下記URL)

■問い合わせ先

可茂農林事務所 林業課
Tel 0574・25・3111
(内線422)
岐阜県林政部 林政課
Tel 058・272・8473
※二十六年四月からは、恵みの森づくり推進課が担当になります。

歯のなんでも電話相談 四月十三日に実施されます

岐阜県保険医協会では、四月十八日の「良い歯」にちなんで、歯に関する電話相談を一日だけ実施します。歯科医師が無料で相談に応じますので、お気軽にお電話下さい。

実施日時

四月十三日(日)
午前十時〜午後三時
Tel 058・267・0711

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo-koyo/norin-jimusho/kamo/forestry/suigenntiiki.html>

山火事予防運動を実施

春季全国火災予防運動の一環として、県では三月から四月までの二ヶ月間「守りたい森の輝き 防火の心」を統一標語に掲げ、岐阜県山火事予防運動を実施します。

春季は山火事発生の危険性が高い時期です。その被害から森林を守るため、防火啓発・巡視活動を実施していきます。

皆さんも改めて火の取り扱い等に十分注意いただき、ますようお願いいたします。

山火事予防のポイント

- ・枯れ草等のある火災の起こりやすい場所ではたき火をしないこと
- ・たき火等火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること
- ・風の強い時や空気が乾燥している時にはたき火をしないこと
- ・たばこは指定された場所で喫煙すること
- ・吸い殻の火は必ず消し、投げ捨てはしないこと
- ・火遊びはしないこと

4月

日	曜日	加茂医師会 午前9時〜午後5時
6	日	濃飛ファミリークリニック(川辺町/53-3111)
13	日	太田メディカルクリニック(美濃加茂市/26-2220)
20	日	田原医院(川辺町/53-5588)
27	日	木沢記念病院(美濃加茂市/25-2181)
29	火(祝)	うえだクリニック(美濃加茂市/26-2281)

下呂市立休日診療所

■診療日時
毎週日曜日・祝日
午前9時〜午後3時
■所在地
下呂市森 801-10
下呂市民会館1階
Tel 0576-24-1200
※原則として
内科・小児科の急病患者

近隣の休日診療情報



サワラのみぞれ煮

揚げたサワラと大根おろしのさっぱり感が合います

■材料 (四人分)

- ・サワラ切り身 …… 四切れ
- ・シメジ …… 二〇〇g
- ・大根 …… 二〇〇g
- ・万能ネギ …… 二本
- ・顆粒だしの素 …… 小さじ一
- ・しょうゆ、みりん …… 各大さじ二
- ・酒 …… 大さじ一
- ・塩 …… 少々
- ・小麦粉 …… 適量
- ・揚げ油 …… 適量

■作り方

- ①シメジは根元を切り落としぶくしておく。万能ネギは小口切り、大根はすりおろす。
- ②サワラの切り身を一口大に切り塩を振り、小麦粉をまぶす。
- ③サワラを一七〇℃に熱した油で火が通るまで揚げる。
- ④鍋に二〇〇ccの水、顆粒だしの素、しょうゆ、みりん、酒を入れて煮立て、シメジを入れ再度煮立て、最後に揚げたサワラ、大根おろしを加えてサツと煮る。
- ⑤器に盛りつけ、万能ネギをちらして出来上がり。

■ポイント

・揚げたサワラのコクと大根おろしのさっぱり感がマッチした料理です。

平成二十二年三月八日放送 レシピ提供：今井桂子さん(平)

短歌



なす紺の匂い立たせつ剣道着

纏いて孫等寒稽古に発つ

今井米子

ふり返りふり返りして遠ざかる

雪夜に出合ひし狐は夢幻

今井光彦

東北の未曾有の惨事に心痛み

くじけないでと祈る外なし

菊田良香

水底を透して流るる冬の川

沈みて石はみな眠りたり

小林道子

鳥より夫呼ぶ声に目ざむければ

白きベッドの夜半のまぼろし

田口かずみ

(平成二十四年発行 木の実会短編集

【第五集から】)

【お詫び】二月号の俳句に誤りがありました。お詫び申し上げます。次の通り訂正させていただきます。

福寿草 一つほころぶ 厨かな

村雲春子

人口の動き

世帯数	… 870世帯
人口	… 2,568人
(男1,237人 女1,331人)	
入出生	… 7人
出生	… 2人
出生	… 1人
出生	… 4人

先月との比較 02人増
昨年との比較 60人減

2月末住民登録人口から

お誕生おめでとうございます
安江 恋音(直人・亜未/柏本)

お悔み申し上げます

- 安江 サトエ 八十八歳(平)
- 大坪 正信 六十四歳(上親田)
- 今井 きみゑ 九十五歳(宮代)
- 野村 文裕 二十五歳(柏本)

※敬称略

ひとこと

村の特産品といえ

ば、白川茶、東濃ヒノキ、夏秋トマト、飛騨牛などが上げられます。

この中で今月特集した製茶組合の表彰は非常に明るい話題である

とともに、関係者が一丸となって取り組んでいる事がすばらしい結果につながったと思います。

お茶は淹れ方で味と香りが全く変わってしまいます。お茶のいれ

方講習がたびたび開かれているので参加し勉強して、「お・も・て・

な・し」の心でお客さんに白川茶を飲んでもらい、村のファンを増

やしたいと感じました。(一)